

デジタル時代の著作権協議会(CCD)権利問題研究会 平成 25 年度 第 1 回研究会

開催日時:平成 25 年 9 月 27 日(金)10:00~12:00

開催場所:一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 会議室

議事次第

1. 「CDCシステムにおける著作権情報管理の仕組みと応用」
〈発表者〉公益社団法人著作権情報センター 附属著作権研究所
専任研究員 横山 眞司氏
2. その他
 - (1) CCD シンポジウム開催について
 - (2) 第 11 回権利問題並びに保護技術等に関するアンケートの実施状況について

議事概要

1. 議事 1 について
 - ・ (公社)著作権情報センター(CRIC)附属著作権研究所横山氏より、CDC システムについて説明が行われた。CDC 設立の経緯として、国内の音楽配信状況と著作権処理の課題が提示され、それら課題の解決のため、集中処理を行うことにより、権利処理の効率化が図られていること、続いて CDC システムの機能および運用について、統一コード(CDC-ID)によるデータベース管理やフィンガープリントによる検索機能の内容の説明がなされた。委員からは、フィンガープリントのマッチングや CDC-ID のコード付与に関する質問がなされた。また、コンテンツへのコード付与やデータベース化について、CCD ではコンテンツの流通促進のために CCD-ID を活用し、権利処理の円滑化をはかることを推進してきたが、一方で自らの作品について、多くの人に広めるために動画共有サイトで公開するなど多様になっていること、その場合でも自らが著作者であることを示すためにデータベースが必要とされるだろうが、それは CCD-ID のようなビジネスを基幹とするものとは異なっていくだろうとの意見が交換された。
2. 議事 2 について
 - ・ CCD シンポジウム開催に向けて権利問題研究会でとりあげるべきテーマとして、TPP 交渉における知的財産分野の問題、放送コンテンツの海外展開促進の動き(放送コンテンツ海外展開促進機構の設立)などがあげられた。
 - ・ 第 11 回権利問題並びに保護技術等に関するアンケートについて、回答状況を報告し、引き続き回答の収集を継続する旨報告を行った。

以上